

クイックガイド

燃料 無鉛レギュラーガソリン



安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドと WEB 取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB 取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

警告（製品に係る安全事項）



禁止

燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。

エンジンの排気ガスは吸い込まないでください。人体に有害な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。

エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。

換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。

回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。



強制

本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。

自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。

給油は、必ずエンジンを停止し十分冷えた後に行ってください。また、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。

給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。

燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。

給油は、換気の良い所で行ってください。燃料の蒸気が蓄積し火災の恐れがあります。

給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。静電気の火花によって引火の恐れがあります。

⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	エンジンの運転中や運転停止直後はエンジン本体やマフラー部が熱くなっていますので、手・身体などが当たらないように注意してください。やけどをする恐れがあります。	 強制	給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
	改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。		燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
	指定された用途以外には使用しないでください。		運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。火災の恐れがあります。
	正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。		点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
	未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。		運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
	操作の仕方がよく分からない成年者の独自の使用はご遠慮ください。		使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。		ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
	運転中に回転部及び稼働部に手や足及び衣類を絶対に近付けないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。		
	周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。		

⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	本機は路盤の締固めを目的とした機械です。用途以外には使用しないでください。	 強制	燃料は無鉛レギュラーガソリンを使ってください。
			長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
			給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
			定期点検整備を行ってください。
			子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

⚠警告（作業に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。	 強制	適切な間隔で休憩をとってください。
	ご使用時は、人や動物が近づかないようにしてください。		本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
	異常があった場合には、完全に修理してから本機を再始動してください。でなければ本機を再始動しないでください。		作業中は、フート板（衝撃板）に足が近づかないよう十分ご注意ください。転圧盤（フート）に足を踏まれ、大怪我をする恐れがあります。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		作業中、停止中、保管中に本機が転倒しないよう十分ご注意ください。保管中はロープ等でしっかり固定をしてください。
	室内、トンネル内、深い溝内など換気の悪い場所では使用しないでください。		
	火気の近くで運転をしないでください。		
	エンジンをかけたまま本機から離れないでください。		

⚠注意（作業に係る安全事項）

 禁止	機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	 強制	長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。		長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
			シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
			毎回作業前に各部のネジ等の締付け具合を点検してください。振動でネジ等が緩み、思わぬ事故の原因になります。
			常に足場に注意し、本機のバランスを保てる無理のない安定した姿勢で作業を行ってください。
			本機を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

⚠警告（積み下ろしに係る安全事項）

 禁止	安全のため、必要以上の高さには吊り上げないでください。	 強制	吊り上げ作業に対し、本機部品（特に吊りフック・防振ゴム）の損傷やネジの緩み・脱落が無く安全である事を確認してください。
	ワイヤーロープに損傷があるときは使用しないでください。		
	吊り下げ作業は一点吊りフックのみ使用し、その他の場所（ハンドル等）での吊り上げ作業はしないでください。		吊り上げ時はエンジンを停止させ燃料コックを閉じてください。
	油圧ショベルのクレーン仕様で作業を行う場合、急激な吊り上げや吊り下げは絶対に行わないでください。		強度の十分なワイヤーロープ等を使用してください。 本機を吊り上げた際、下には絶対に人や動物を入れないでください。 吊り上げ機械操作時に事故の無いよう充分注意してください。

⚠警告（運搬に係る安全事項）

 禁止	作業直後にカバーをかけないでください。エンジンが熱くなっているため、火災の原因になります。	 強制	運搬時は必ずエンジンを停止してください。
			エンジンや本機がよく冷えてから運搬してください。
			運搬する場合は必ず燃料やエンジンオイルを抜いてください。
			ランマーは水平な場所に置いた状態で運搬してください。本体を横に倒す場合は、まず燃料やエンジンオイルをタンクから必ず抜いてください。燃料タンクのキャップ、燃料コック、エンジンオイルの給油キャップをしっかりと閉めて、エンジンや本体が冷えた後に、エンジンの二次エアクリーナーが上側に向くように倒してください。
			
			本機を立てた状態で運搬する場合は、動いたり、倒れたりしないようにしっかりと固定してください。 本体を持ち上げる場合はハンドルを持ち、ハンドルと本機の間指や手を挟まないように注意してください。 本機は重量物であるため、移動の際は専用の移動車をご使用ください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体



B. 移動用車輪



C. 工具★



※プラグレンチ以外は、通常使用しない工具です。内容物は変更になる場合があります。

※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

★サービス品です。予告なく終了する場合があります。

【本体の取り出し方】

※製品保護フレームにバリがある場合がありますので、手袋着用ください。

※重量物のため、2人以上で行ってください。



①製品保護フレームを慎重に持ち上げ外します。

製品保護フレーム



②フート板を固定している下部フレームの固定板のボルトを外し、本体を2人で持ち上げ下部フレームから外します。

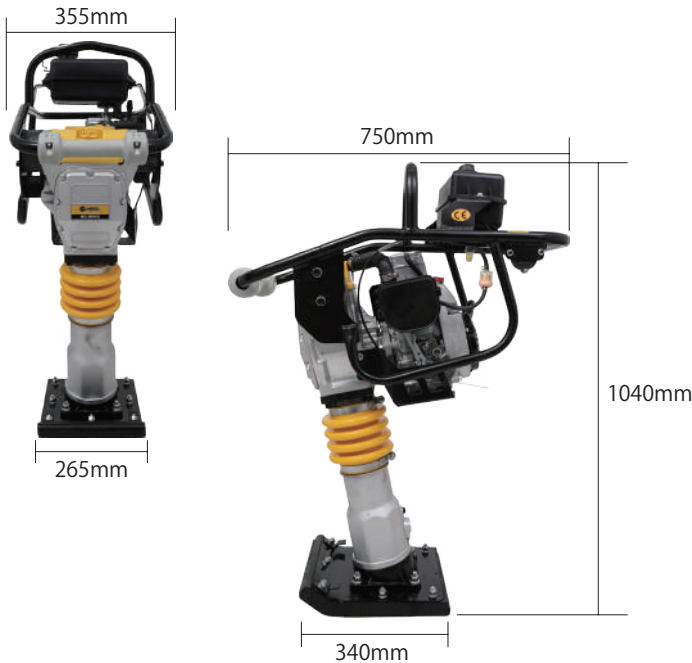
下部フレーム

固定板

主要諸元

モデル名	HG-RM60
型式	4 ストロークエンジン
排気量	121cm ³
最大出力	2.7kw / 3600min ⁻¹
最大トルク	7.5N.m / 2500min ⁻¹
衝撃数	10.2 ～ 11.3Hz (610~680v.p.m)
衝撃板ストローク	50~70mm
打撃	13kN (1326kgf)
作業速度	10m / 分
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	2.6L
起動方式	リコイルスターター方式
エンジンオイル	SAE10W-30
エンジンオイル容量	0.35L
本体潤滑油／容量	SAE10W-30 / 0.8L
点火プラグ	CR5HSB(NGK)
フート板（衝撃板）寸法	340 × 265mm
寸法（幅×奥行×高さ）	355 × 750 × 1040mm
本体重量	60.4kg（潤滑油 0.8L 含む）

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。



運転前の点検

警告

 禁止	- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。 - 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。 - 運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
 強制	- 燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。 - 燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。 - 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。 - 燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意

 強制	- 燃料タンクキャップは確実に閉めてください。 - 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。 - 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
---	--

燃料の点検・補充

使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	2.6L

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。
工場出荷時、燃料は入っていません。

- 1

燃料タンクキャップを取外します。


- 2

液面を見て残量を確認します。


- 3

少ないときは、少しずつこぼさないように給油します。
- 4

給油が終わったら、燃料タンクキャップが「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

エンジンオイルの点検

エンジンオイルは出荷時には入っていません。

必ず給油してください。また、工場で試運転をしているため、若干オイルが残っている場合があります。

給油の際は、オイルゲージで確認してください。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30 ・寒冷地は SAE5W-30
オイル容量	約0.35L

- 1 フート板の下に枕木等を挿込み、エンジンが水平になるようにします。



- 2 オイル給油キャップを取外し、オイルゲージを布などで拭取ります。



- 3 オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度取外します。

⚠注意

- ・エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- ・こぼれたエンジンオイルは必ず拭き取ってください。

- 4 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)までであるか点検します。



- 5 確認後、オイル給油キャップをしっかり閉めます。

- 6 使用 2 回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

本体オイルの点検・補充

本体にオイルは入っています。

運転前には、オイル確認窓でオイルの色・量を確認してください。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約0.8L

- 1 オイル量は、オイル確認窓の中間くらいです。不足している場合は、オイル給油口のボルトを取外し補充をします。



- 2 オイルが汚れている場合は、オイル交換が必要です。

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃を行ってください。

- 1 エアクリーナーは2カ所あります。両方とも確認してください。



- 2 エアフィルタの汚れはエアブロー等で吹き飛ばします。汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。

フート板のボルト、ナットの点検

フート板(衝撃板)の取付ナット、板押えナットは、長期間使用しているとフート板(衝撃板)が摩耗し隙間ができ、ボルト、ナットが緩んだり、振動で緩む場合があります。必ず運転前に確認してください。緩んでいたら放置せず、増し締めをしてください。



運転操作の仕方

警告



禁止

- ・振動障害の予防策として長時間の連続使用はしないでください。
- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。
- ・やけどをすることがありますので高温部に触れないでください。



強制

- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方



無鉛レギュラーガソリンを入れましたか？



エンジンオイルを入れましたか？



エアフィルタの汚れ確認しましたか？

1

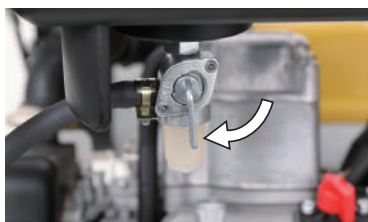
アクセルレバーを、「MIN (低速) 側」に倒します。



2

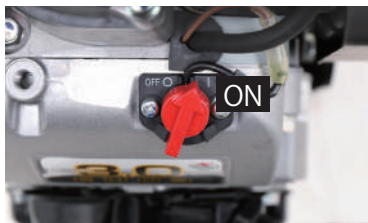
燃料コックを「ON」にします。

※写真の位置が「ON」です。



3

エンジンスイッチをON「I」側にします。



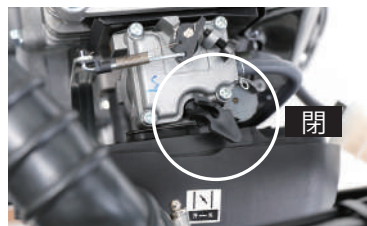
エンジンが冷えているときのかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに該当します。

1

チョークレバーを「閉」にします。

※写真の位置が「閉」です。



※運転停止直後の再始動をする場合には、チョークレバーを「全開」もしくは「半開」にします。

2

本機をしっかりと保持し、リコイルスターターロープを引きます。



※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ60～70cm引いてください。（ロープは一杯に引ききらないでください。）引きが少ないとエンジンはかかりません。

注意

何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万が一、濡らしてしまった場合は、web取説「困ったときの対処法（点火プラグの点検）」をご覧ください。

リコイルの引き方ポイント



- ①良い例：約70cm引いている。
- ②良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③悪い例：穴に対してロープが真っ直ぐでないと、抵抗が生まれ、エンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れる恐れがあります。

- 3** エンジンがかかったら
すぐチョークレバーを
「開」にします。

※写真の位置が「全開」
です。



- 4** エンジンが始動したら1～2分程度暖気運転をします。

- 5** エンジンが止まりそうなら、エンジンを一旦止め、アイドル
リングの調整を行います。

- 6** アクセルレバーをアイド
リング「MIN(低速)側」
から運転「MAX(高速)
側」の位置へ倒すと、タ
ンピングランマーが作
動を始めます。



⚠注意

- ・アクセルレバーの操作をゆっくり行くと半クラッチ状態が続き、クラッチが破損する恐れがあります。また、乱振動を起こしますのでアクセルレバーは素早く動かしてください。
- ・作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「MIN(低速)側」にしてください。

⚠警告

- ・作業中は、フート板(衝撃板)に足を近づけたり、フート板(衝撃板)に足を乗せたりしないでください。フート板(衝撃板)で足を挟まれ大変危険です。
- ・傾斜地での作業は、転倒に十分注意してください。

エンジンが温まっているときのかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている
場合です。再始動などがこれに該当します。

- 1** チョークレバーを「全
開」にします。



- 2** 本機をしっかり保持し、
リコイルスターター
ロープを引きます。



※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから
素早く引きます。おおよそ60～70cm引いてください。
(ロープは一杯に引ききらないでください。) 引きが少
ないとエンジンはかかりません。

⚠注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたりコイルスターターは途中で放さずに、ゆっ
くり戻してください

- 3** エンジンがかからない場合は、運転操作の仕方「エンジ
ンが冷えているときのかけ方」を行ってください。

- 4** エンジンが始動したら1～2分程度暖気運転をします。

- 5** エンジンが止まりそうなら、エンジンを一旦止め、アイドル
リングの調整を行います。

- 6** アクセルレバーをアイド
リング「MIN(低速)側」
から運転「MAX(高速)
側」の位置へ倒すと、タ
ンピングランマーが作
動を始めます。



⚠注意

- ・アクセルレバーの操作をゆっくり行くと半クラッチ状態が続き、クラッチが破損する恐れがあります。また、乱振動を起こしますのでアクセルレバーは素早く動かしてください。
- ・作業を中断するときは、その都度アクセルレバーを「MIN(低速)側」にしてください。

⚠警告

- ・作業中は、フート板(衝撃板)に足を近づけたり、フート板(衝撃板)に足を乗せたりしないでください。フート板(衝撃板)で足を挟まれ大変危険です。
- ・傾斜地での作業は、転倒に十分注意してください。

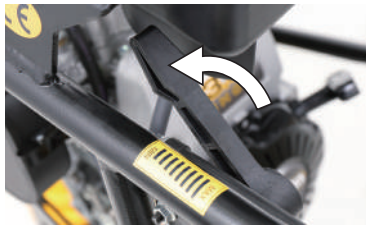
エンジンがかからないとき

下記をご確認ください。

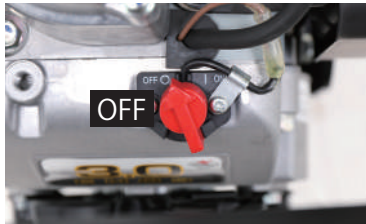
- ☒ 無鉛レギュラーガソリンを使用していない。または古い燃料を使用している。
- ☒ チョークレバーを「閉」にしていない。
- ☒ エアフィルタが汚れている。
- ☒ リコイルの引き方が正しくない。
- ☒ 燃料の供給過多によって、点火プラグを濡らしてしまっている。

エンジンの止め方

- 1** アクセルレバーを「MIN（低速）側」にし、エンジンを低速運転にします。



- 2** エンジンスイッチをOFF「○側」にするとエンジンが停止します。



⚠注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラー等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

本機の移動

近い距離を移動するには、移動用車輪を取付けると便利です。

- 1** 車輪がフート板の下に来るようにします。



- 2** 写真のように傾けてゆっくり引っ張ります。または押します。



作業の仕方

警告



禁止

- 本機を連続で長時間使用しないでください。振動障害を発生する恐れがあります。
- 身体の調子が悪いときは、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中にフート板（衝撃板）部分の近くに足を近づけたり、足を入れないでください。
- ご使用時は、人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、完全に停止してから異物を除去し、本機に異常がないか調べてください。異常があった場合には、修理してから再始動してください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 急傾斜地では使用しないでください。



強制

- 本機を1人が連続で長時間使用することは避け、運転員を交代したり、十分な休憩をとってから使用を再開してください。
- 適切な間隔で休憩をとってください。
- 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。
- しっかりハンドルを握って操作してください。

作業手順

1 作業場所の水平な所に移動します。

2 エンジンを始動します。

3 暖機運転後、ハンドルをしっかり持って、アクセルレバーを「MAX(高速)側」に倒します。タンピングランマーが動作を始めます。

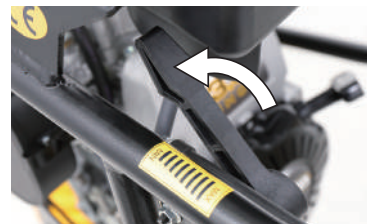


作業の中断

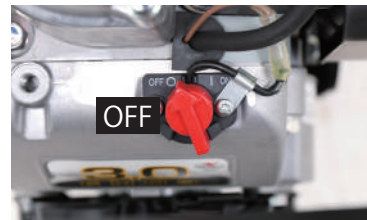
作業を中断するときは、その都度アクセルレバーを「MIN(低速)側」してください。燃料の節約、エンジンの寿命にも好影響を与えます。

作業の終了

1 アクセルレバーを「MIN(低速)側」にしエンジンを低速運転を1～2分行います。

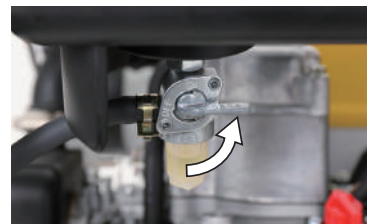


2 エンジンスイッチをOFF「○側」にします。



3 燃料コックを「OFF」にします。

※写真の位置が「OFF」です。



注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラー等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

※詳細はWEB取説をご覧ください。

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。
弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。
返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がありますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。
保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。
商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、パルプ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャービン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺いし、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
 - ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
 - ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
 - ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
 - ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 - ・無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。
- また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
- 1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 - 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 - 3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 - 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 - 5. 修理協力店へ依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。